

授業科目

リハビリテーション概論

担当教員名 石井 雅子、菊入 昭、松永 秀夫、土岐 悦子	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

授業の概要

リハビリテーション医療のチームアプローチによってQOLを改善させようというリハビリテーション医学の基本を学ぶ。同行援護従業者(視覚障害)資格取得に必要な内容を学ぶ。

授業の目的

視能訓練士に必要とされる視覚障害リハビリテーションに必要な知識を系統的に学ぶ。
同行援護従業者として必要な技能を理解する。

学習目標

- 1 障害者福祉に関する制度およびサービスを理解できる。
- 2 情報支援・代筆・代読の基礎知識を理解できる。
- 3 障害者(児)の心理を理解できる。
- 4 視覚障害と疾病について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	障害・疾病の理解 視覚障害者の理解と視覚障害の実態とニーズ	講義	石井 雅子
2	障害・疾病の理解 「見えること」と「行動」	講義	石井 雅子
3	情報支援と情報提供	講義	土岐 悦子
4	代筆・代読の基礎知識	講義	土岐 悦子
5	情報支援機器	講義	土岐 悦子
6	同行援護の基礎知識	講義	菊入 昭
7	視覚障害者(児)福祉サービス	講義	菊入 昭
8	同行援護の制度と従業者業務に関する知識	講義	菊入 昭
9	障害者(児)の心理 先天性視覚障害と中途視覚障害	講義	松永 秀夫、石井 雅子
10	障害・疾病の理解 視覚障害の原因疾患と症状	講義	石井 雅子
11	障害・疾病の理解 弱視の見え方と見えにくさ	講義	石井 雅子
12	障害・疾病の理解 弱視の見え方と見えにくさのシミュレーション	演習	石井 雅子
13	障害・疾病の理解 弱視の見え方と見えにくさへの対応	演習	石井 雅子
14	障害者(児)の心理 家族の心理	講義	松永 秀夫、石井 雅子
15	まとめ	講義	石井 雅子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	同行援護従業者養成研修テキスト 第3版	同行援護従業者養成研修テキスト編集 委員会	中央法規		2,400円+ 税	
参考書						

その他の資料

適宜、プリントを配布する。

評価方法

定期試験：80%

受講態度：20%

履修上の留意点

同行援護従事者資格に対応する科目である。

別途、日程表を配布する。

欠席がある場合は、資格認定ができない。

再試験・追試験は必要があれば1回のみ実施する。

オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日の昼休み

メールアドレス:ishii@nuhw.ac.jp

研究室:P309